

6 本時の学習

段階	学習活動・主な発問と予想される児童の反応 (○基本発問 ◎中心発問 ◇補助発問)	指導上の留意点(●支援 ☆評価)						
		A	B	C	D	E	F	G
導入 (10分)		めあて 質問の意味を理解し、答えることができる。	めあて ねずみくんとくまくんの気持ちを表情カードから選ぶことができる。	めあて 登場人物の気持ちを想像することができる。	めあて 登場人物の名前と絵のマッチングができる。	めあて 自分の気持ちを素直に伝えたと気持ちがよいことを知ることができる。	めあて 自分の席に座っていることができる。	めあて 質問の意味を理解し、発言することができる。
	◇今まで嫌な気持ちになった時のことを、思い出してみよう。							
	1 「さかさのこもりくん」の前半部分の紙芝居を見てこもりくんの特徴を知る。		●紙芝居を見ているか確認する。 Ⓐ		●紙芝居を見ているか確認する。 Ⓐ		●集中できているか確認する。	
	○こもりくんはどんな子でしょうか。							
展開 (25分)	・こもりのこども ・いつも逆さになって暮らしている。 ・話すことが、全部逆さま。	●考えがまとまらない時は、ヒントを出す。	●気に入った絵を貼れるように用意する。	●自信をもって発言できるように声を掛ける。	●気に入った絵を貼れるように用意する。	●よいことを考えられた時は褒める。		●自信をもって発言できるように声を掛ける。
	2 こもりくんの言葉を聞いたねずみくんとくまくんが、どのように思ったのか考える。 ・ねずみくんは嫌な気持ちになった。 ・くまくんは、不思議なことと言っているなあと思った。							
		●絵を活用したりヒントを出したりして、ねずみくんとくまくんの気持ちを想像できるようにし、気持ちの違いに気付けるようにする。						
		☆ねずみくんとくまくんの気持ちを想像することができたか。						
	3 自分の考えを伝える。	●ワークシートに記入できているか確認する。	●ワークシートに表情カードを貼れるように用意する。 ●表情カードを切り取りワークシートに貼れているか確認する。 Ⓐ	●ワークシートに記入できているか確認する。	●ワークシートに名前と絵がマッチングできるように用意する。 ●名前を切り取り絵の横に貼れているか確認する。 Ⓐ	●ワークシートに記入できているか確認する。	●集中できているか確認する。 Ⓐ	●ワークシートに記入できているか確認する。分からない時はヒントカードを渡す。
	4 逆さ言葉しか話せないと、どのように困るのか想像する。							
	○反対の言葉しか話せないと、困ることはありますか。							
	・友達が嫌な気持ちになる。 ・友達ができない。							
	5 「さかさのこもりくん」の後半部分の紙芝居を見て、こもりくんの気持ちを想像する。 ・言葉が伝わってうれしかった。 ・一緒に遊べてうれしかった。		●紙芝居を見ているか確認する。 Ⓐ		●紙芝居を見ているか確認する。 Ⓐ			
終末 (10分)	◎こもりくんが頭を上にしてほしかったのはなぜかな。							
	・楽しかったことを伝えたかった。 ・逆さのことばではない言葉を言いたかった。 ・本当の気持ちを伝えたかった。		●紙芝居を見せながら、こもりくんの気持ちが想像できるような言葉を付け足す。					
		☆こもりくんの気持ちを想像することができたか。						
終末 (10分)	6 友達となかよくするために、どうしたらよいか考えをまとめる。 ・話し合う。 ・相手の気持ちを聞く。 ・やさしくする。	☆自分の気持ちを伝えることの大切さが理解できたか。 ●掲示してあるものが、ヒントとなることを伝える。	☆自分の気持ちを意思表示することができたか。(表情カード)	☆自分の気持ちを伝えることの大切さが理解できたか。	☆登場人物の名前と絵のマッチングができたか。	☆自分の気持ちを伝えることの大切さが理解できたか。		
						●嫌な気持ちになった時の解決策を思い出せるように言葉を掛ける。		●ヒントがどこにあるのか伝える。

全体への支援、評価は で囲んであります。Ⓐは支援員